

なか、

広報

2006 No.12

- 発行日 / 平成18年1月1日発行
- 発行 / 那珂市
- 編集 / 市長公室企画課広報係
〒311-0192
茨城県那珂市福田1819-5
- ホームページURL(携帯可) /
<http://www.city.naka.ibaraki.jp>
- メールアドレス /
kikaku@city.naka.lg.jp

1 目次 / Contents

謹賀新年 新年のごあいさつ	2
第1回那珂市文化祭	4
Oak Ridge Report - August 2005.	6
那珂市生涯学習のご紹介	8
歴史民俗資料館だより 水鳥	10
市政だより(第2回那珂市地域審議会 ほか)	11
まちの話題	13
はじめてのたんじょうび ほか	15
さわやかさん、表紙の裏側 ほか	16



もういくつ寝るとお正月?(額田幼稚園)

国指定 文化財

文化財は、祖先の歴史や伝統、文化を今日まで伝える大切な共通財産です。そして、この文化遺産を後世に伝えていくことは、私たちの責務でもあります。今回は、市内の国指定文化財4点をご紹介します。

絹本著色法然上人像

法然上人が、曲ろく（僧侶が座る椅子）にやや前かがみで座る姿が描かれています。このように、椅子に座る上人を描いたものは大変珍しいものです。柔和なまなざし、大きい鼻翼、厚い唇など上人の特徴をよくとらえており、鎌倉時代後期の伝統的な絵仏師の作とされています。附紙に『光圀偶得黒谷宮公大画肖像恭奉納 浄鑑院云 元禄癸酉年』と記しており、元禄6（1693）年に、光圀が浄鑑院へ寄贈したことがわかります。

所在地：常福寺 / 瓜連
縦141.1cm 横72.4cm



紙本著色拾遺古徳伝

拾遺古徳伝は、正安3（1301）年に親鸞の曾孫覚如が寄稿し、法然上人伝に親鸞の事跡を加え、親鸞を宣揚する主旨に基づいて制作されました。詞73段、絵73段からなるもので、奥書に『元亨三歳癸亥十一月十二日奉図画之願主釈正空』とあり、元亨3（1323）年に釈正空が願主となり納めたものと知ることができます。門徒の要請により複数制作・転写されましたが、覚如在世中の作で全9巻が揃っているものは常福寺の絵伝のみで、大変貴重なものです。右の聖徳太子絵傳と共に上宮寺が賜ったものでしたが、水戸藩初代藩主徳川頼房に献納され、2代目藩主徳川光圀から常福寺へ下賜されたものと伝えられています。



所在地：常福寺 / 瓜連
縦41.5cm 横1.521~2.573cm



所在地：上宮寺 / 本米崎
縦37.8cm 長さ739.4cm

銅印（附印筭）

寛文7（1667）年、静神社本殿を改築造営する際に、境内にあるヒノキの太木の根を掘ったところ一つの甕が出土しました。甕には、沢山の炭の中に『静神宮印』と彫られた古い銅印が納められていました。この一件を水戸藩2代目藩主徳川光圀へ申し上げたところ銅印発見を大変喜び、これを蜀紅の錦の袋に入れ黒漆塗りの箱（印筭）に金文字で発見当時の事を記し、社宝として寄進しました。印文は楷書で、4文字を2列に配し、平安時代の神社印の秀作の一つとされます。

所在地：静神社 / 静
縦4.91cm 横4.94cm 高6.21cm（印筭）
縦6.8cm 横6.7cm 高6.21cm

水鳥

2



紙本著色 聖徳太子絵傳

この絵傳は、聖徳太子の一代記です。入胎・誕生から上宮王家滅亡に至るまでの重要な事柄を、詞書と14段の絵で表しています。修理の際に発見された旧軸付の墨書に、詞書は世尊寺定成卿、画は土佐法眼光信によるもの、裏書に『元亨元年三月十七日願主釈正空』と書かれていたことなどが記しており、この絵傳は元亨元（1321）年の制作と推定されます。上宮寺13世の住持が、石山の合戦の功によって本願寺11世顯如上人から賜ったものと伝えられています。